

地元産原材料にこだわった菓子の統一ブランドを作った、卸売と製造業者による共同プロジェクト

札幌市の(株)ナシオ(従業員 284 名・資本金 5,000 万円)は、北海道内のシェア 40%を占める当地最大手の菓子卸会社。従来からプライベートブランド商品を開発することで商品の企画力を蓄積している同社を中心にして、北海道産原材料にこだわった商品の統一ブランドが形成されている。

同社は 2005 年 9 月に地元の取引中小メーカー 12 社と共に「道産菓子研究会」を発足した。これはメーカーが北海道産 100%の商品を製造し、同社が「ほっかいどう菓子本舗」の統一ブランド名にて販売を行うものである。中小メーカーは、単独では割高な北海道産原材料の価格を販売価格へ転嫁することが困難なため、同社が商品の形状、包装、ネーミングなどを工夫して付加価値をつけ、メーカーが北海道産原材料を使用できるよう支援している。また、材料管理やトレーサビリティ、原産証明の取得などについても同社が支援を行っている。地元の特徴ある原材料を安定して確保する際に、同社の原材料調達能力や信用力が活きる効果もある。

ほっかいどう菓子本舗のロゴマーク

